

平成30年度 高瀬小学校 学校評価羅針盤

評価対象	評価項目	具体的数値項目	方策	
確かな学力の向上	できる喜び	児童は、授業が分かり、できた実感や分かった喜びを味わっていますか。	授業で「できてよかった、分かって嬉しい」と解答する児童が80%以上	・児童が主体となって活躍できるよう、既習事項の振り返りや説明し合う時間を確保し、考えを交流する活動を充実する。 ・評価資料集(県教委作成)等を授業において意図的・計画的に活用し、活用力を伸ばすための授業を構築する。 ・学力パワーアップタイムを中心に、習熟の満たない領域に関しての補充学習の充実や発展学習としての評価資料集の活用を計画的に行う。
	基礎・基本の徹底	教科等の基礎・基本が、児童に確実に定着していますか。	市販テストで正答率7割以上の児童が90%以上	・フラッシュカードなどを活用した繰り返し学習を充実する。 ・発達段階に応じてノート指導を徹底し、学んだ内容を整理して可視化できるようにする。 ・授業の最後に定着を確認する問題を提示し、確認する。
	きめ細かな指導の改善・充実	児童の実態に応じた指導の工夫がなされていますか。	授業の内容が分かると回答する児童が85%以上	・高学年を中心に教科担任制を取り入れ、教師の専門性や充実した教材研究を生かした「わかる」授業を展開する。 ・複線型の授業を行うことにより、児童が自分に合った課題や解決方法で取り組めるようにする。 ・学力パワーアップタイムや放課後の学習支援ボランティアによる個別指導により、個に応じた指導を重質させる。
	家庭学習の充実	家庭で自主的に学習する態度が、児童に身に付いていますか。	宿題以外で毎日家庭学習に取り組んでいる児童が90%以上 ○毎日家庭学習に取り組んでいる児童が90%以上	・学習内容と直結した本時と次時をつなぐ(児童ががやらなくてはと思う)家庭学習を推奨する。 ・「家庭学習の手引き」を全児童と家庭に配付し、家庭学習の目的や内容について共通理解を図りながら主体的な学びができるように継続的に指導する。
	校内研修の充実	研修テーマを自らの課題とし、積極的に授業を公開したり、参観したりしていますか。	研修テーマを意識し、積極的に授業を公開あるいは参観したと回答する教師が90%以上	・児童の実態、学級の課題に即し、説明する活動を採り入れ、活用力を具体化し、その向上を目指す指導過程の工夫に努める。 ・「高瀬小スタンダード」を、各教科で徹底し、「めあて」と「まとめ」の整合性を意識した授業を展開する。
	キャリア教育の充実	各教科の学習を通して、学ぶ意義や学び方を理解させ、学習意欲を高めるとともに、将来自立する力を高めていますか。	授業で学ぶ意義や学び方を理解させるよう努めたと回答する教師が90%以上	・キャリア教育全体計画を基に、教育活動全体を見直し、自立に必要な資質能力を明確にして発達段階に応じた指導を行う。 ・キャリア教育についての職員研修を行い、キャリア教育についての理解を深める。
	ふるさと富岡の学習の推進	富岡製糸場や地域の特徴を探求する活動を取り入れて、主体的な学習を促していますか。	「富岡製糸場について詳しくなった」「高瀬地区、富岡市について知っていることが増えた」と回答する児童が80%以上	・生活、社会、総合等の教科及び道徳の指導計画に位置づけ、計画的に地域教材と富岡製糸場を取り入れた学習を行う。 ・富岡市教育研究所が開発した教材を積極的に授業で実践する。 ・ふるさと富岡の学習について定期的に保護者に伝える。
豊かな人間性の育成	道徳教育の充実	道徳教育推進教師を中心に、体験的な活動を生かし、考え議論する道徳指導の展開を工夫していますか。	体験的な活動を生かし、考え議論する道徳を行っている教師が90%以上	・導入時等、児童にとって身近な話題を意識的に取り入れる。 ・別業やわたしたちの道徳、くまの子どものためのルールブック50を計画的に活用し、道徳で学習したことを想起させるような機会を意図的に設ける。
	心のこもったあいさつ	誰に対しても進んで元気に心のこもったあいさつをする児童が育っていますか。	元気に心のこもったあいさつをすすんでしていると回答する児童、教師が80%以上 教師が90%以上	・学校だけでなく、あいさつを励行する。 ・生活委員会を中心にあいさつ運動を展開し、啓発や表彰を行う。 ・児童啓発活動「高瀬賞」で表彰する。
	人権意識の高揚	いじめを見て見ぬ振りをせず、自分がされて嫌なことはしない児童が育っていますか。	いじめを見て見ぬ振りをせず、自分がされて嫌なことはしないと回答する児童が100%	・児童会主体でいじめ根絶の啓発活動を行う。 ・道徳の授業で、人権、思いやりなどについて重点的に取り上げる。 ・人権学習で、いじめを許さない心情や態度を養う。
		教師は、常に人権を意識して行動し、自身の人権感覚を磨いていますか。	常に人権を意識して行動したと回答する教師が100%	・人権学習を計画的、重点的に行い、教師、児童、保護者の人権感覚を磨く。 ・人権感覚チェックリストを活用する。
	積極的な生徒指導の充実	教師は、児童一人一人の居場所のある学級づくりを心がけていますか。	自由に意見が出し合える授業づくり、学級づくりに努力したと回答する教師が100%	・なかよしアンケートの確実な実施と早期集計、即時対応を実践する。 ・友達のよさを認め合う授業づくり、学級づくりをしていく。 ・常に生徒指導・保護者対応の鉄則に基づき、対応する。
	きめ細かい児童理解	学校は、学習面、生活面で配慮の必要な児童について、組織的に理解し、対応していますか。	配慮の必要な児童とその対応について理解していると回答する教師が100%	・学年主任等連絡会議を核として、配慮が必要な児童に対する共通理解と、適切な共通行動を心がける。 ・カウンセラー、教育相談をはじめ、諸機関とも連携し、組織的に対応する。
	読書活動の充実	学校は、図書室環境等を充実させ、保護者による読み聞かせ活動を継続していますか。	図書館図書の利用数、読み聞かせ協力保護者数が昨年度より多い。	・スタンプラリーの活用 ・委員会活動の充実 ・図書委員会を中心として図書室を利用するよう指導を工夫する。 ・教科指導で計画的に学校図書を利用したり、学級指導で望ましい読書習慣について指導したりする。
		教師は、児童と共に朝読書を行っていますか。	児童と一緒に朝読書を行ったと回答する担任が100%	・児童が、学校図書館を利用するよう指導を工夫する。 ・朝読書の方法や本の選定を見直し、より主体的に取り組めるようにする。 ・学校だけでなく家庭への啓発を行う。 ・読書講演会を実施する。
	キャリア教育の充実	夢や希望をもち、将来社会的に自立できる児童が育っていますか。	自分のよさや将来の夢を理解している児童が80%以上 友達と協力して係や委員会活動ができる児童が80%以上	・児童集会や学級活動、道徳の授業等で、進路や将来について考える機会を設ける。 ・キャリア教育の趣旨を意識して、将来の自立に向けて教科等の指導を行う。
	ふるさと富岡の学習の推進	郷土に誇りと愛情をもった児童が育っていますか。	「高瀬・富岡が好き」「高瀬・富岡の自慢が言える」と回答する児童が80%以上	・学年の実態に応じて、各教科や領域の授業で、地域素材や富岡製糸場を意識的に取り上げ、それを大切にしようとする心情を育てる。
健やかな体の育成	自問活動の充実	自ら考え、実行する意義を理解している児童が育っていますか。	かがやきタイムを実践していると回答する児童が85%以上	・「自ら考え、実行する」ことが大切であり、その結果として「無言」で活動するということを、自問集会をはじめ、朝・帰りの会、学級指導などで、繰り返し児童に伝えるようにする。
	健康で活力のある子ども	休み時間など元気よく外で遊び、自分の健康を自分で管理できる児童が育っていますか。	元気よく外で遊び、健康に気を付けていると回答する児童が85%以上	・学校だけでなく、学年通信でスポーツや手伝いなど、体を動かすことを奨励する。 ・中休み・昼休みの外遊びを推奨し、教員も共に遊ぶ。
	基本的な生活習慣の定着	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践し、睡眠や食事を大切にしている児童が育っていますか。	「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している児童が85%以上	・生活指導・食育指導を継続・充実させる。 ・「くまの子どものためのルールブック50」を教育活動全体を通して活用し、徹底する。
	安全・安心な学校	安全マップを活用して、自分で自分の安全を守る児童が育っていますか。	通学路を中心に危険な場所が分かり、注意していると回答する児童が85%以上	・学活や朝・帰りの会で継続して指導する。 ・春・夏・秋・冬の交通安全週間の登下校指導で強化する。 ・児童自ら通学路の安全について考え、危険を予測する場面を設ける。
		学校は、教師の危機管理意識を高め、安心して生活できる学校づくりを進めていますか。	月1回の安全点検をはじめとして、常に安全に配慮していると回答する教師が90%以上	・「廊下を走る」等、事故につながる行為については、常時、全職員で指導する。 ・危険を予測し安全な行動をとれるよう、児童に考えさせる指導を行う。
楽しい給食	給食を通して、食の大切さを理解する児童が育っていますか。	給食をバランスよく残さず食べようと努力していると回答する児童が90%以上	・給食指導をはじめ、学級指導(低・中学年)、家庭科(高学年)で、望ましい食生活について、計画的・継続的に指導する。 ・望ましい食生活について、学校だけでなく、学年・学級通信等で保護者を啓発する。 ・一日の食事・運動・睡眠を記録する「すくすくペロリンカード」を用いて、児童の生活習慣を把握し、指導に生かす。	